

近江楽座

まち・むら・くらしふれあい工舎

2022

学生も

大学も

地域も、

いっしょに育つ。

<http://ohmirakuza.net/>

滋賀県立大学 スチューデントファーム「近江楽座」ーまち・むら・くらしふれあい工舎ー

「近江楽座」＝学生の力を生かして、地域に学び、育ち、貢献できる場

「近江楽座（おうみらくざ）」とは？

滋賀県立大学の“スチューデントファーム「近江楽座」-まち・むら・くらしふれあい工舎-”は、地域貢献を目的とする学生主体のプロジェクトを募集、選定して、全学的に支援する教育プログラムです。

2004 年度に文部科学省「現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代 GP）」に採択され、2006 年度までの3年間の活動実績が大学発地域貢献の先進的な取組として、学内外で高く評価されました。そして、翌 2007 年度からは大学独自の予算を用いてプログラムを継続し、これまでに培ってきたノウハウや地域とのつながりを生かし、更なる活動を展開しています。

教育効果を高め、大学と地域の連携を深めるための3つの目標

- 地域の課題に大学・学生が取り組み、地域の活性化に向けて共に活動する。
- 学生が地域の方々と一緒に活動することにより、学内だけでは学べないことを体験する。
- 大学と地域が共同して、よりよい地域づくり・人づくりにつながるしくみをつくる。

3つのサポートシステム

近江楽座専門委員会・学生委員会・近江楽座事務局（地域共生センター）の連携の下、3つのサポートシステムにより、全学的に活動を推進しています。

■ 活動助成システム

「近江楽座」として選定されたプロジェクトの事業計画に基づき、活動に必要な事業費を審査し、助成します。

■ コンサルティングシステム

教員の指導・助言に加え、行政や専門家の紹介、各種講習会の開催など、学生がプロジェクトを進めていくために必要なコンサルティングを行います。

■ 活動情報の発信・共有システム

中間報告会や活動報告会で活動の成果を共有・発信するとともに、ホームページや SNS、パブリシティなどにより活動の情報発信をサポートします。

プロジェクトタイプ

これまでの 18 年間で延べ 404 のプロジェクトが活動を展開しています。

■ A プロジェクト（学生主体型プロジェクト）

SDGs の視点を踏まえ「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動を募集し、プレゼンテーションと審査を行い、支援するプロジェクトを選定しています。また、これまでの近江楽座での実績をもとに更なるステップアップを目指し、活動資金の支援を必要としないプロジェクトを特別に S プロジェクトとして選定しています。

■ B プロジェクト（地域協働型プロジェクト）

自治体や企業、団体等から依頼のあった課題の中で、学生が中心になって取り込むのがふさわしいものについて、学生主体のグループを募集し、指導教員、地域共生センターおよび依頼先とが協働でプロジェクトに取り組みます。現在、「県営開出今団地コミュニティ再生プロジェクト」（2016～）に取り組んでいます。

A プロジェクト

「地域活性化への貢献」をテーマとする学生主体の地域活動プロジェクト

S プロジェクト

活動資金の助成を必要とせず、これまでの実績をもとにステップアップを目指す取組

B プロジェクト

学生が主体となって取り組むのがふさわしい自治体や企業等から提示された課題に、学生チームと依頼先とが協働で取り組むプロジェクト

主な流れ

step1 発起

近江楽座につながる活動の芽

- 「学生主体による地域貢献活動」がキーワード
 - 大学での授業、フィールドワーク、研究など全てが近江楽座につながる活動の芽
- 学生ならではの視点で地域の課題や魅力を見出し、新たな実験的な試みを蓄積していくことができます。

一年間で成果を上げるためのプランニング

- 年一回、近江楽座のプロジェクト募集と審査会
 - 学生主体の活動であれば、誰でも応募可能
 - プレゼンテーションと厳正な審査を経て採択
- 審査会を経験することで、学生たちのプレゼンテーション能力が養われます。また、審査を通して自分たちのプロジェクトの評価を確認することができます。

独自の支援を活用したプロジェクト展開

- 活動資金の助成により、実践的な活動展開が可能
 - 教員と事務局が連携した全学的なサポート体制
 - 活動の中間報告を行い、活動の進捗状況を把握
- 活動助成やコンサルティングといった活動支援に加えて、近江楽座がこれまで培ってきたノウハウや地域とのつながりをもとに更なる成果や展開も生まれていきます。

大学、地域と共に成果と課題の再認識

- 全てのチームで一年間の活動をフィードバックし成果と課題を共有し合う
 - 成果の発表だけでなく、地域関係や一般の方とともに意見交換できる場づくり
- 活動成果の展示発表と同時に、地域の方々や外部講師を招いて開催します。より多くの方々と共にまちづくりを考える場をつくることで、近江楽座の活動を広くアピールして取組の発展を図ります。

近江楽座を経験し、地域へのまなざしを持つことで
学生もプロジェクトも次のステップへ。
そして、次へつながる新たな“種”が生まれる。



プレゼンテーション



交流会



中間報告会



成果報告会

— VOICE / 先輩の声 —

吉田瑛里奈さん (Ichirin)
とよさと快蔵プロジェクト (2012～2015)



「地域の人」ではなく「○○さん」として向き合うことを大切に

私はとよさと快蔵プロジェクトで改修したシェアハウスに学生の頃から住み続け、近江楽座での経験が、今の暮らしや仕事に繋がり、豊郷町内でデザイナーをしています。近江楽座では、自ら行動した分、経験を得ることができ、部活やサークルと違い、大学を出て社会の人たちと関わります。その際は、挨拶、そして「地域の人」ではなく「○○さん」という個人として向き合うことを大切にしてください。より深い信頼関係を築け、活動の幅も広がります。滋賀県立大学での貴重な経験を楽しんでください。

S プロジェクトであることに対する責任感を持って活動していました。約 1000 個の蠟燭を使用する OKB ストリートキャンドルナイトは特に印象的で、天候への対応や、緊張の中での代表挨拶が大変でした。関係者のご協力で助けられていたイベントでもあります。また、あかりんちゅはどんな場所でも活動できる所が強みで、他団体からのお誘いによってできた人とのつながりも多くありました。コロナ禍で一度途絶えたつながりでも、過去の積み重ねから再び繋ぐことが出来るはずですよ。また、近江楽座同士の連携も大切に、新しい活動の模索をしてみてください！

大橋日菜子さん (和菓子司 近江三方庵)
あかりんちゅ (2016-2019)



自分たちだけの団体にとどまらず積極的に他団体との交流を！

SCHEDULE 2022 - 2023

4 月 / April

2021 年度活動報告会 (4/20-4/22)
2022 年度プロジェクト学内公募 (4/26-5/16)

5 月 / May

2022 年度プレゼンテーション・審査会 (5/28)

6 月 / June

2022 年度採択プロジェクト発表 (6/2)
プロジェクト活動開始 (6/6)
活動説明会 (6/6)
湖風夏祭 (6/18)
スキルアップ講座 (6/28)

「おうみらくざプロジェクトレポート」発行開始

7 月 / July

滋賀県立大学オープンキャンパス (7/23,7/24)
スキルアップ講座

10 月 / October

スキルアップ講座

11 月 / November

湖風祭 (11/5,11/6)
2022 年度中間報告会

3 月 / March

活動実績報告

4 月 / April

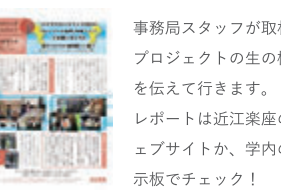
2022 年度活動報告会

ウェブサイトの情報が充実！



各プロジェクトについてはもちろん、楽座人物図鑑や楽座文庫などのコンテンツがありさらに検索機能ができました。過去のプロジェクトについても知るすることができます。

プロジェクトレポート発行中！



事務局スタッフが取材、プロジェクトの生の様子を伝えていきます。レポートは近江楽座のウェブサイトか、学内の掲示板でチェック！

近江楽座でスキルアップ！

楽座に関わる学生や地域活動に興味のある人を対象にセミナーを開催。講師には学内外から幅広い分野の方々をお招きします。



そろそろ会でチーム間の交流も！



楽座っ子同士の交流会“そろそろ会”の企画も行っているミィ！他のチームの学生と交流できるチャンス！みんな集まれー！！

PROFILE

近江楽座学生委員会

近江楽座を更に推進していくことを目的にプロジェクトチームの代表経験者が中心となり、2006 年度に結成された組織です。チーム間の交流・連携を目的として、交流会の開催や活動紹介冊子の作成など、学生ならではの視点で近江楽座をサポートしています。学生たちが学部や学科、プロジェクトの枠を超えて活動の輪を広げ、地域活性化に貢献するためのネットワークを形成していくことを目指しています。

近江楽座専門委員会

滋賀県立大学の社会貢献活動の高度化・活性化を図る、地域共生センター運営委員会の専門委員会であり、近江楽座のプログラムにおける企画・運営、プロジェクトの公募・審査、広報や学外交流などの議案を審議し、事業全般を推進することを目的とした教員による組織です。メンバーは各プロジェクトの指導教員だけでなく、それ以外の教員も含めた全学的な構成となっており、より広い視野で学生全体の地域貢献活動をサポートしています。

近江楽座事務局

近江楽座専門委員会の実務を担い、プロジェクトの募集や活動助成、予算の執行管理、活動成果まとめ、報告会の企画・実務等を行うとともに、チームの活動に対する指導や助言を行っています。また、取材や視察、協力要請といった外部からの問合せ窓口や活動紹介印刷物の発行、ホームページの運営を行い、広報・発信面でのサポートを行っています。

22 CEBU PARIAN PROJECT

SDGs
1 2 3 4 17

CEBU PARI-AN PROJECT (15 名)

継続 (2018 年へ)

フィリピンセブ市 / 学内

葛輪 優 (環境科学部研究科)

ヒメネス・ベルデホ・ホアン・ラモン (環境科学部)

NPO 法人 FootRoots、NPO 法人
セブンスピリット、HO-TONG FOUNDATION

<https://www.instagram.com/jesuitthouseproject/>

Jesuit House の地域の歴史・文化・伝統・環境の継承

Jesuit House の保存を支援し、地域の人々が文化遺産に触れ、歴史・文化・伝統を次世代に継承するためのイベントや活動の場を設けています。

また、プラスチックのリサイクルを行い、地域の方たちにプラスチックのリサイクル技術を普及していきます。これにより、地域の人々がプラスチック製品を作り、生活に役立てるよう支援を行います。

4 月 全体計画	5 月 全体計画	6 月 国内 PRDP ワークショップ	7 月 国内 PRDP ワークショップ	8 月 フィリピン PRDP 機械制作	9 月 国内 PRDP ワークショップ	10 月 Jesuit House 改修	11 月 国内 PRDP ワークショップ	12 月 フィリピン PRDP 機械制作	1 月 国内 PRDP ワークショップ	2 月 活動まとめ	3 月 国内 PRDP ワークショップ
2022.4						PRDP---Plastic Recycle Design Project 現地調査 オンラインミーティング					2023.3

SDGs

Sustainable Development Goals

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナリーシップで目標を達成しよう



PROJECT CATALOGではそれぞれのチームの活動が関係している目標を上記のアイコンで示しています。

- SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) は、持続可能な社会の実現を目指す世界共通の目標です。
※「持続可能な」とは、人間の活動が自然環境に悪影響を与えず、(改善する動きを) 長期間に渡って、実施し続けられるという意味。
- 世界中にある貧困や差別、環境など様々な問題を、世界のみんなで 2030 年までに、解決しようとするもので、上記 17 の目標が掲げられています。